

令和4年度 第2回大豆島公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和5年3月2日(木) 午後1時30分から2時30分まで
- 2 場 所 大豆島公民館 視聴覚室
- 3 出席者 有澤 美江子(大豆島地区更生保護女性会会長)
倉島 佐代子(大豆島公民館副館長)
中村 祥子(長野市スポーツ推進委員)
広瀬 一雄(大豆島地区民生委員児童委員協議会会長)
保谷 辰夫(大豆島地区住民自治協議会会長)
丸山 忠良(学識経験者)
柳澤 安江(風間保育園園長)
山崎 ひろ子(大豆島地区赤十字奉仕団委員長)
高池 一昭(市立大豆島公民館館長)
松平 剛(市立大豆島公民館係長)
(田原克彦委員は欠席)

4 審議事項

- (1) 令和4年度大豆島公民館事業報告について
- (2) その他
- ・成人式の名称について
 - ・市民運動会について
 - ・交流センター化について

5 審議内容

長野市立公民館条例第15条の規定により、委員の過半数の出席を満たしており審議会は成立していることを報告して開会した。

(1) 令和4年度大豆島公民館事業報告について

事務局 (令和4年度大豆島公民館事業報告について事務局から説明)
(委員から質問なし)

(2) その他

事務局 一点目は成人式の名称について。長野市では統一した名称にすることは考えておらず、各公民館の実情を踏まえて名称を決めていくように言われている。令和4年度の成人式の名称は「二十歳を祝う成人式」の名称で行ったが、令和5年度は今のところ「二十歳を祝う集い」という名称で考えている。委員の皆様から名称についてお考えがありましたらご意見をいただきたい。

事務局 二点目は市民運動会について。今後の市民運動会のあり方について、地域公民館7館にご意見をいただいた。実施形式を、①従来の運動会を継続、②コロナ対応で行ってきた運動会代替種目「家族でふれあいウォークラリー」への移行、③大会型・挑戦型・体験型併用のスポーツイベント形式の3択で意見を聞いたところ、運動会代替種目「家族でふれあいウォークラリー」に移行して実施していくことが望ましいとの回答が多かった。このことは、区長会にも報告し、ご意見を伺いながら今後も検討し進めていくように考えている。

委員の皆様からもご意見があればお聞かせいただきたい。

事務局 三点目は交流センター化について。館長会において、家庭・地域学びの課から令和5年度から公民館の交流センター化を進めていく方向である旨の話があった。今後この話が本格化していくようであれば、来年度の審議会でも話させていただく。

丸山会長 交流センター化の方向になっていったとき、今後どのようにするか。

事務局 指定管理制度の話のときと同様に検討委員会を設置して協議いただくことになると考えている。

丸山会長 来年度の成人式の運用に変更はあるか。

事務局 成人者に成人式の運用についてアンケート調査を行った。成人者も加わった実行委員会形式かこれまで通り公民館が主体となって運営する形式かで問いましたが、これまで通り公民館主体の運営方法が良いとの回答が多かったため、令和5年度成人式も公民館主体で運営したい。また、時期についても8月が良いとの意見が多かったため、今までと同様に8月お盆に開催としたい。

事務局 今年度から成人式の参加申し込み受付を市の電子申請サービスで行ったが、的確に処理でき良かった。この先の話になるが、公民館使用予約の方法も同じような仕組み（電子予約システム）にしていくことを市の方では考えているようで、一つの情報として併せてお伝えさせていただく。

山崎委員 貸館について、赤十字奉仕団で9月に防災訓練があり、土日のどちらかで炊き出し訓練をするため料理教室をお借りしてきたが、今年度から土日祝日、夜は防火管理者が不在のため使用できないとの回答であった。

団員の皆様は平日仕事なので、なかなか休みが取れない。年に1度なので、何とか休日の料理教室を使用させていただきたい。

保谷委員 規則はわかるが、地域の災害に備えた防災訓練なので、もう少し柔軟性をもって対応し、開かれた公民館であって欲しい。

事務局 この件については、検討させていただきたい。

有澤委員 子育て支援のまめっ子サロンについて、コロナ禍で定員を減らしたが、今後、元へ戻す（拡大）ことは考えているのか。

事務局 担当者（住民自治協議会）に確認しないとわからないが、元の定員に戻すのではないかと思われる。